

### 69. スキー章

試験課目	試験方法	認印
	合格年月日	
(1) スキー用具、服装について、手入れや保存法の注意点をあげ、説明できること。	□・実	
(2) スキーのエチケット、マナー及び安全対策について説明でき、次の事項が実演できること。 ア 凍傷、捻挫、骨折の応急手当て イ 雪上における負傷者の運搬（救急そりの作り方を含む）	□→実	
(3) 次の種目を実演できること。 ア ブルークボーゲン（20m×100m 平滑な中斜面） イ シュテム・ターン（20m×100m 平滑な中斜面） ウ パラレル・ターン（40m×100m 平滑な中斜面） エ 総合滑降（50m×200m 不整地を含む中斜面）	実	
※ 全日本スキー連盟バッジ・テスト 2 級検定以上に合格している者は、前記（3）の細目は合格とする。		

試験課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章審査員 印

### 70. スケート章

試験課目	試験方法	認印
	合格年月日	
(1) スケートの歴史を簡単に説明すること。	□/記	
(2) スケートの原理を述べ、スケート靴の選び方、はき方、及びブレードの手入れについて説明すること。	□・実	
(3) 次のスケート技術を実演すること。 ア 20m を 10 くらいのスロークで前進滑走し、ハの字型またはイの字型ストッピングで停止する。 イ 直径 3m くらいの半円を正しくキヤーリングする。 ウ 直径 5m くらいの半円を前進のクロッシングをする。 エ 前進からバックへのターン、バックから前進へのターンをする。 オ 片足でバックスケータージュをする。	実/証	
(4) スピードスケート、フィギュアスケート、アイスホッケーの競技の概要を説明すること。	□/記	
(5) スケートリンク（室内、屋外）で守るべきマナー及び自然結氷の池や湖での注意事項、氷がわれて水中に落ちた時の処置について説明すること。	□/記	
※ 日本スケート連盟プレーン・スケータージュ・テスト B 級以上に合格している者は、前記（3）の細目は合格とする。		

試験課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章審査員 印

### 71. 漕艇章

試験課目	試験方法	認印
	合格年月日	
(1) 水泳章を有すること。	証	
(2) 艇の点検、整備の要点を知り、説明できること。	□/記	
(3) 櫂（かい）、櫓（ろ）、水竿及び爪竿（つめさお）の使用方を説明できること。	実	
(4) 不意の風浪による転覆の防止法、浸水または転覆した場合の処置を説明できること。	□/記	
(5) 風雨警報の概要、及び遭難時の信号法が説明できること。	□/記	
(6) 技能章審査員の立ち会いまたは同乗のもとで、次のア、イを実施すること。 ア 2 人乗りまたは 3 人乗り程度のボートを正しく漕ぎ、各辺 50m の正三角形コースを右回り、左回りで各 1 巡する。 イ 多少の流水面または海上で、他船、桟橋または浮標などに防 舷物を使わずに横付け及び離脱ができること。さらに、もやし結び、ひた結びを用いて、艇をもちやうこと。	実	
(7) 任意の艇で単独または他の者を伴って、1 回 5 時間以上の航行を 2 回以上行い、その巡航日誌、記録を提出すること。	録	
(8) 自分の経験及び他から学習したことからに基づき、漕艇上の心得、艇の運用、保管上の注意をまとめ、報告すること。	報	
※ 水辺・水中・水上の活動については、安全器具（ライフジャケット等）が正しく取り扱えること。		

試験課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章審査員 印

### 72. 登山章

試験課目	試験方法	認印
	合格年月日	
(1) 世界及びわが国における登山の歴史について述べること。	□/記	
(2) 目的とする山を設定し、準備した 20 万分の 1 の地勢図及び 5 万分の 1 または 2 万 5 千分の 1 の地形図を読んで、登山計画書を作成すること。	計・作	
(3) ラジオ放送の気象通報によって天気図を作成すること。	実	
(4) 7 月下旬・4 泊 5 日・4 人のパーティー・山小屋利用を条件とする北アルプス縦走の登山準備表、及び食糧計画書を作成して、その要点を説明すること。	計・□	
(5) 歩行技術の基本について説明し、尾根歩き、沢歩き、やぶこぎ、ガレ場、雪渓、岩場など危険な場所を通るときの注意を指摘すること。	実・□	
(6) 山小屋利用及びテント利用の生活で留意すべき点について述べ、不時露営の方法と過ごし方を説明すること。	□/記	
(7) 山小屋利用の縦走登山（無雪期、中級山岳）5 回以上を実施した経験を有すること。	録	
(8) これまでの山岳遭難事故例を原因別にあげ、その予防と遭難時の処置について述べること。	□/記	
(9) 自然愛護の意義を知り、登山者として守るべき注意事項をあげて説明すること。	□/記	

試験課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章審査員 印